



第408号
 2021年 1月
 〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 news@nagoya-diocese.jp
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

1月1日
 世界平和の日

1月18日(土)
 25日まで
 キリスト教一致
 祈祷週間

1月31日
 世界子ども助け
 合いの日・献金

教区ホームページ
 福音のひびき
 1月の説教者

1日 神の母聖マリア
 プルム・アーノルド
 (瑞浪教会)

3日 主の公現
 クンダク・ジュンディ・カニシウ
 (敦賀教会)

10日 主の洗礼
 志村 武
 (日比野教会・八熊教会)

17日 年間第2主日
 ビリアコルタ・ジョナサン
 (神言修道会)

24日 年間第3主日
 北向 修一
 (春日井教会)

31日 年間第4主日
 ソンボタン・カロール・ヨハネス
 (城北橋教会)

2021年 新年のあいさつ

今は、待ち望む時、活かすべき時

教区司教 松浦悟郎



サや子どもたちのためのプログラムを実施したり、教区の青年たちが工夫して全国の青年の集まりを実現したりしました。また、外国人グループが困難な中にある自国の人たちのために国内、国外を問わずに支援活動を行いました。

こうした中、今年には以下の三つのことを心に留めて皆さまと共に歩みたいと思います。

新しい方法でのつながりを

新型コロナ感染症の一番の問題は、人間にとってもっとも大切な「つながり」を媒介に拡散し、人と人とを分断させていくことです。したがって、「コロナと闘う」ということは「感染しない」「感染させない」というだけでなく、「つながりを切らないこと、むしろ新しい方法でつながりを広げていくこと」にほかなりません。特に、日常的につながりが困難な場に置かれてある人たちに積極的につながっていきましょう。

新しい日常に向けての大切な時

コロナが落ち着いた後、必ず日常に戻ります。ただ、それはコロナの前の日常とは大きく異なる「新しい日常」です。もしかしたら、これまでの日常で大切だったことが失われてしまったにもかかわらず、そのことに気づかないまま、

皆さま、新年おめでとございます。

昨年はコロナ禍の中で大いに揺れた一年でした。パンデミックという、言葉としては知っていても実際には経験したことの無い事態が起こり、教会もその影響を強く受けました。今まで日曜日になるとあたりまえのように教会に行つてミサで祈り、皆と分かちあつてきたことができなくなつたのです。会議、行事、聖書研究、キリスト教入門講座などの教会の大切な活動が難しくなり、特に、病気や高齢のために病院や施設などに入所しておられる方々への訪問が厳しく制限され、共同体との交わりが極端に減つてしまったことなど、心痛むことが多くありました。

一方、厳しく制限された中でも「新しい生活様式」を模索する動きは教会でも見られました。いろいろな小教区やグループがオンラインでミ

サや子どもたちのためのプログラムを実施したり、教区の青年たちが工夫して全国の青年の集まりを実現したりしました。また、外国人グループが困難な中にある自国の人たちのために国内、国外を問わずに支援活動を行いました。

こうした中、今年には以下の三つのことを心に留めて皆さまと共に歩みたいと思います。

新しい方法でのつながりを

新型コロナ感染症の一番の問題は、人間にとってもっとも大切な「つながり」を媒介に拡散し、人と人とを分断させていくことです。したがって、「コロナと闘う」ということは「感染しない」「感染させない」というだけでなく、「つながりを切らないこと、むしろ新しい方法でつながりを広げていくこと」にほかなりません。特に、日常的につながりが困難な場に置かれてある人たちに積極的につながっていきましょう。

新しい日常に向けての大切な時

コロナが落ち着いた後、必ず日常に戻ります。ただ、それはコロナの前の日常とは大きく異なる「新しい日常」です。もしかしたら、これまでの日常で大切だったことが失われてしまったにもかかわらず、そのことに気づかないまま、

2021年『東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願行事』について

松浦司教は「2021年『東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願行事』について」と題する文書を12月2日、教区民に向けて発信し、当該行事の取り組み方を次のように示した。

① 諸宗教に呼びかける形はとらず、カトリックのみで行う。
 — 新型コロナウイルス感染症に配慮。諸宗教の教団・教派にもそれぞれで対応するよう呼びかける。

② カテドラルで追悼および復興祈願の司教ミサを行う。
 — ミサは参加自由(ただし定員100名)。教区行事として意味づけするため、各ブロックから代表1名が参加し、共同祈願を行う。ネット配信についても検討する。

③ 各小教区でも何らかの集いや祈りを行う。——たとえば、発災時刻(午後2時46分)に鐘を鳴らし、黙祷、祈り、復興祈願のミサなど。

④ ミサや集いを行う教会の一覧表を事前に作って配布する。
 — 都合に合わせて誰でも参加しやすいように。


なお、教区ミサ、共通の祈りなどの詳細は、後日発表される。これらの取り組みは、(来年度が震災から10年を迎えること)

「日本のカトリック教会および大阪教会管区としての支援に区切りをつける」と決められていたこと(これまでの名古屋教区)の取り組み方などを前提に、10月4日の教区宣教師評議会(宣教師評)で方針が出され、具体的には社会福音化推進部と宣教師事務局との話し合いで決められた。

今年の3月以降の取り組みについて松浦司教は次のように、災害被災者への祈りと支援の必要を訴えている。

「震災から10年が経ち一応の区切りをつけるとは言え、実際には復興は程遠く、特に福島のは復興被害には今後も数十年かかると思われる状態です。また、近年、毎年のように台風や地震による大災害が発生しています。こうした現状を見ると、今後も東日本大震災の被災者をはじめ、こうした各地の被災者、犠牲者のために祈り、支援を続ける必要があります。《3・11》10周年を迎えた後、2022年からどのような形にすればよいかについては、宣教師評議会などで考えてゆくこととなります。」

なお、東日本大震災復興支援募金も、3月11日をもって終了する。



ラウダート・シ 特別年

2020年5月24日(土)
 2021年5月24日(日)

「教皇訪日一周年を迎えて」

司教協議会会長メッセージ(要旨)

「すべてのいのちを守るため」生活指針に

教皇フランシスコ訪日1周年を受けて11月23日、日本カトリック司教協議会会長、高見三明大司教がメッセージ「教皇訪日一周年を迎えて」を発表した。訪日中の教皇が残されたメッセージや直前に発表した回廊などにも基づいて、教皇訪日1周年をどのように迎えるべきかを論じている。カトリック中央協議会ホームページに全文が掲載されている。以下はその要旨である。(編集部)



高見三明大司教

な世界をつくり続ける」をテーマにあげる。戦争は、多数のいのちを破壊する最悪の行為であり、武器の頂点にある核兵器の問題を取り上げている。

さらに、核兵器禁止条約は批准国が50に達し、2021年1月22日に発効することになったが、核保有国と、日本を含む核の傘のもとにある国々がこの条約に反対している現実について、「世界的に世論を喚起して、核保有国に圧力をかける必要があり」「その中で被爆国である日本が先頭に立つべきだ」とうたえている。

大司教は3番目のテーマとして「地球環境を守る」をあげる。教皇の意向に沿って日本の教会は9月の第一日曜日「被造物を大切に」する世界祈願日、9月1日〜10月4日を「すべて

大司教はまず、教皇訪日のテーマ「すべてのいのちを守るため」を生活の指針にしようと呼びかける。そして、「いのち」とは、身体的ないのちだけではなく、特に神の似姿として造られた人間には、能力、良心といった内面のいのちが備わっており、人は身体と内面のいのちによって神、他の人々、自然環境とつながり、そのつながりによって真に生きるものであって、「すべてのいのちを大切に」ということは、それらの生きた愛のつながりを大切にすること」と説いている。

次に大司教は「平和兵器禁止条約」だ。カト

降誕節に「聖書」を読む 「新約聖書の二つの降誕物語」

教区ニュース編集長 早川 努

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、みなさんはどのようにクリスマスをお過ごししましたか。ミサにあずかった人々は赤ん坊として救い主がこの世界に生まれたことや神の言葉が人となられたこと(受肉)の意義について、司祭の説教を聴いたに違いありません。ミサの説教は、原則としてそのミサの福音にもとづいて行われます。主の降誕・夜半のミサではルカ福音書第2章が朗読されました。

ところで、新約聖書の4福音書のうちで、イエスの降誕物語を伝えてい

るののはルカとマタイだけです。マルコもヨハネもイエスの出身家庭にはまったく関心を払っていません。マタイはイエスの誕生の次第を伝えていますが、驚くべきことに、そのストーリーはルカのそれとはまったく異なっているのです。気づいていましたか?

まったく先人観をもたずにマタイ1〜2章とルカ1〜2章を読んでみれば、一目瞭然、明白な相違に気づくはず。主な相違点をまとめると、次のようになります。

マタイ マリアとヨセフはもととベツレヘムで、家に住んでいた。占星術の学者が来たことが原因でヘロデ王はベツレヘムの幼児を虐殺し、聖家族はエジプトに逃げた。ヘロデ王が死んだのでエジプトから戻るが、ヘロデの跡を継いだアルケラオがユダヤを支配していたので、ヨセフは恐れてベツレヘムには帰らず、ガリラヤに引きこもり、ナザレに行つて住む。ルカ マリアとヨセフはナザレの出身で、ローマ帝国の人口調査のためにヨセフの祖先の町ベツレヘムへ出かけた。そこでマリアは子を産んで飼料の葉桶に寝かせた。宿屋に泊まる場所がなかったから、ベツレヘムに住居など持っていない。聖家族は無事にベツレヘムからエルサレムを通つてナザレに帰つたのである。占星術の学者の訪問もエジプトへの避難もなかった。

両者の相違は歴然としていて、つじつま合わせをゆるさないものがあります。ところが、じつは両者が伝えようとしている宗教的なメッセージは見事に共通しているのだから、その点に目を向けたとき、わたしたちはイエスの降誕の意味のみならず、イエスの告げる福音を深く胸に刻むことができるようになるのです。

マタイとルカの降誕物語に共通する宗教的メッセージとは何かを理解するためには、アメリカの聖書学者レイモンド・E・ブラウン師による2冊の小著「降誕物語におけるキリスト」マタイ2章・ルカ2章に関する小論集」と「キリストは近づいてくる」待降節の福音マタイ

教皇フランシスコ、「ヨセフ年」を宣言

2020年12月4日から2021年12月8日まで

教皇フランシスコは12月8日、使徒的書簡「パトリス・コルデ」(父親の心で)を発表し、2020年12月8日から2021年12月8日を「ヨセフ年」とすると宣言した。教皇は同書簡で、聖ヨセフは「取り成しの人、苦難の時に支え、導いてくれる人」であるとし、新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、聖ヨセフが示しているのは、日々の困難を耐え忍び、希望を示しつつも、決して目立つことのない「普通の人々」の大切さであると強調している。(カトリック中央協議会 HPより)

同書簡は、福者ピオ9世教皇が1870年12月8日に聖ヨセフを「カトリック教会の保護者」として宣言して150年を迎える記念として発表された。

みんなで聴こう、アドベント(待降節)とクリスマスのお話

Hodie Christus natus est hodie Salvator apparuit.

「みんなで聴こう!」パトリック・オルガン・聖歌・ハンドベルによる音楽のアドベントカレンダー、そしてクリスマスのお話(主催・企画 吉田文)が12月12日、カトリック南山教会大聖堂で開かれた。

名古屋女子大音楽ゼミの学生によるハンドベル演奏で開幕し、前半は待降節4週間を、聖書朗読(聖霊奉持布教修道会シスター村上多美代)とオルガン演奏で表現した。後半はソプラノの湯浅乃有さん(金城学院大学文学部音楽芸術学科4年生)が「アベマリア」あれ野のはてに「まきびと」など全7曲を、澄ん

だ声で爽やかに歌いあげた。オルガン奏者の吉田文さんも「高く戸を上げよ」「目覚めよと呼ぶ声あり」など、安定した素晴らしい演奏を行った。フィナーレは「きよしこの夜」がハンドベルで奏楽され、会場の皆さんは一足早いクリスマスを迎えていた。

今回はコロナウイルス感染症予防対策の人数制限のため、事前予約制で催行したが、それでも定員の約100人以上が訪れた。終演後、運営費用の補充とホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」への寄附の呼びかけが行われ、みんな気持ちよく協力していた。



終演後に参加者から拍手を受ける、奏楽者の皆さん。

「新しい年に希望を もたらす記念植樹」

多治見教会

多治見教会(岐阜県多治見市)の前庭で11月12日午前10時より、主任アルディー神父の司式によって野外ミサが執り行われ、ミサの中で4本の

オリブの木が植樹されました。これは、教会が創立90周年を迎えた祝いと教皇フランシスコ来日から一年、ラウダート・シ特別年を記念するため

に、福祉委員会から提案されたもの、また、今年には新型コロナウイルス感染症の世界的流行と災害で、世界中で多くの方々が苦しんでいる。

広大な教会敷地には様々な樹木があるが、アルディー神父が選んだのは聖書にも登場するオリブで用意された4本に「平和」「信仰」「希望」「愛」と名を付け、新しい年に希望を託した。

広がる青空、小鳥たちのさえずり、穏やかに暖かい陽を背中に受けて、神が創造された自然たちとともに、感謝と賛美の思い出深いミサとなった。

コロナ感染第3波が心配される最中だったが、マスク着用、互いに距離を保ちながら、兄弟姉妹らとともに心温まるひと時を過ごした。自然界の神秘をとおして示される神の警告に心を傾け、自然の前に謙虚に生きる道を選ぶことができるようにと祈った。



「希望」の木を植樹

「遡る事90年…神言修道会が多治見の地に、修道院を献堂し聖堂を聖霊に捧げた」(1912年12月7日、60年記念誌より)。多治見教会(当時は豊岡教会)はそこに併

新刊書紹介

日本カトリック司教協議会 イヤーブック2021

定価 本体1300円+税10%

2021年のトピックスは「コロナ禍における日本のカトリック教会の対応」と「駐日教皇大使チェノットウ大司教逝去」の2点。その他主な収録は、日本カトリック司教協議会の司教総会議や刊行書籍一覧など。英文を併記。

新刊書紹介

教皇フランシスコ講話集7

定価 本体1200円+税10% (ペトロ文庫)

2019年内のフランシスコ教皇の発言を集めた講話集。WYD パナマ大会閉会ミサ説教、ローマ教皇初となったUAEへの歴史的訪問、同じくイスラームの国であるモロッコ訪問の振り返りなどに加え、クリスマスの飾るプレゼビオ(イエスの誕生の場面の模型)の意義を説く使徒的書簡「感嘆すべきしるし」を付録として収録。問合せ・ご注文は

カトリック中央協議会・出版部
〒138-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429 Fax 03-5632-4456

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011.3.17(発災後募金開始)から 2020.11.30までの合計 32,399,708円

☆2020年11月 振込された支援金
1件 14,497円 (振込手数料引き去り後の金額)
振込ご協力いただいた小教区、個人(敬称略) **金沢教会**

★東日本大震災・福島原発事故、災害支援金について名古屋教区は、大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動をされている団体を中心に支援してまいりましたが、2021年3月をもちまして10年間の東日本大震災・福島原発事故災害支援金受付を終了の予定です。最終の3月に向けて、皆様のご支援、ご協力を是非ともよろしくお願い致します。

・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
<http://caritasjapan.jugem.jp>

支援金振込先
口座番号: 00820-5-137456
名義: カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
※「東日本大震災・災害支援金」と通信欄に記入願います

ご連絡・問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422



4本のオリブ樹を祝別

膳棚教会で 3人の新司祭による 初ミサ

典礼暦A年の最後の主日「王であるキリスト」に当たる11月22日に、膳棚教会(寺尾總一郎主任司祭)で、10月10日に司祭に叙階された神言修道

会の3人の神父による初ミサが捧げられた。森智弘神父が主司式を行い、ジョナサン・レイ神父、篠崎エジソン神父の3人と、神学生のドウックス神学生(フィリップ)が奉仕をした。篠崎エジソン神父は説教で二つのことを話した。

「コロナ禍に伴う外国人生活困窮者(女性)支援シエルトに、企業の受け入れ先の理事長により暴力を振るわれたのをきっかけに入居したベトナム人について。彼女は

多額の借金(100万円)をして来日したが、半年過ぎて働くことができず収入もない。さらに実家は10月の豪雨で家は水没し、家族も路頭に迷っているので支援をお願いしたい。また今日は「王であるキリスト」の主日であり、神様は愛の王国で今も働いておられる。私たちは神様の愛にどのように応えていくのか。兄弟愛の祈りをもって、具体的喜びをもって、愛の実践を行っていきましよう」と呼びかけた。



前列左より森智弘神父、寺尾總一郎神父
後列左より篠崎エジソン神父、ジョナサン・レイ神父、ドウックス神学生

カトリック名古屋教区

「リモート de 新成人のつどい」2021

新成人を迎える皆様をお祝いし、交流ができる場と願い、今回Zoomを利用してリモート形式の「新成人のつどい」を企画しました。松浦司教にも参加して頂きます。新成人の皆様を囲んで共に楽しく交わりたいと思います。お気軽にご参加下さい。

日時 2021年1月17日(日) 14:00~16:00
対象者 平成12年(2000)4月2日~平成13年(2001)4月1日生まれの新成人
所属 名古屋教区内の教会で、学校等で現在地方に在住の方も大歓迎。勿論、名古屋教区内にお住いのの外国籍信徒の皆さんも大歓迎!(英語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語の通訳を予定)

申込み 右のQRコード、または <https://forms.gle/LmemeWbFaN16QcUT6> から、「新成人のつどい」申し込みフォームへアクセスし、必要事項をご記入の上申し込み下さい。後日参加に必要なURL(IDとパスワード)をお送りします。

締切り 2021年1月10日
参加費 無料
問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会事務局
早川和彦助祭 ☎052-935-2223
青年委員会 片岡義博神父 ☎076-421-3508

主催 名古屋教区宣教司牧評議会・名古屋教区青年委員会主催
この集いの模様は、後日 YouTube での動画配信を予定しています。

1月の教会暦

1日(金) 祝神の母聖マリア(祭)
世界平和の日
2日(土) 聖バジリオ 聖クレゴリオ
(ナジアンズ) 司教教会博士(記)
3日(日) 主の公現(祭)
10日(日) 主の洗礼(祝)
17日(日) 年間第2主日
18日(月) 25日(月)
21日(木) キリスト教一致祈禱週間
聖アグネスおとめ殉教者(記)
24日(日) 年間第3主日(神のことはの主日)
25日(月) 聖パウロの回心(祝)
26日(火) 聖テモテ聖テトス司教(記)
28日(木) 聖トマス・アクイナス司教教会博士(記)
31日(日) 年間第4主日
世界こども助け合いの日(献金)

2月の主な教会暦(主日・祭日など)

2日(火) 主の奉獻
7日(日) 年間第5主日
14日(日) 年間第6主日
17日(水) 灰の水曜日
14日(日) 四旬節(大斎・小斎)
21日(日) 四旬節第1主日
28日(日) 四旬節第2主日

教区行事予定 (*松浦司教)

1月

4日(月) 教区事務所仕事始め
8日(金) 正義と平和定例会
9日(土) 宣司評運営委員会*殉教者委定例会/信徒協幹事会

10日(日) 中高生会
12日(火) 樹の会
13日(水) カリタス福祉委員会
14日(木) 教区顧問会
16日(土) 正義と平和学習会/レジオ名古屋クリア
17日(日) (新成人を祝う教区新年の集い・中止) /新成人の集い【オンライン】*
19日(火) カトリック看護協会例会
21日(木) 司祭評常任委員会/月集*
24日(日) 教区顧問会*
25日(月) 教会学校教師会
30日(土) 北陸ブロック司祭会議*
31日(日) 典礼委員会
高蔵寺教会堅信式*

2月

3日(水) 高山右近殉教者祭(金沢教会)*
6日(土) 殉教者祭(栄国寺) 中止
7日(日) 宣教司牧評議会*
9日(火) 樹の会
10日(水) 教区顧問会*
11日(木) 祝典礼委研修会
12日(金) 正義と平和定例会
13日(土) 殉教者委定例会/信徒協役員会/共助連絡会研修会
14日(日) 中高生会/南山教会堅信式

18日(木) カトリック看護協会例会
21日(日) レジオ名古屋クリア
21日(日) 愛岐B会議
25日(木) 司祭評議会*
27日(土) 濃尾B会議/典礼委員会
28日(日) 教会学校教師会/安城教会堅信式*

教区行事以外の松浦司教予定

1月

14日(木) 常任司教委員会
26日(火) 南山学園評議員会
2月

4日(木) 常任司教委員会
15日(月) 19日(金) 司教総会

告知板

福信館便り ☎052(935)7180

◇1月の吹き出し 木7日布池
14日南山・樹の会、21日聖霊・南山・樹の会、28日城北橋 金1日越冬、8日長浦、15日AJU・恵方町、22日布池、29日南山

訃報 使徒ヨハネ山田静儀神父(名古屋教区) 2020年11月22日の午後4時45分、老衰により帰天。91歳。



1929年8月2日長崎生まれ。59年4月5日司祭叙階。59年司教秘書、瀬戸教会主任兼任。66年ローマ留学。72年帰国後、豊田教会主任。76年豊田教会から聖心教会に名称変更。2010年聖心教会協力司祭。16年から名古屋司教館にて引退生活を送っていた。長年にわたって名古屋教区に結婚法廷の裁判官も務められた。

めぐみかん ガンバレ!!

2021年...めぐみかんガンバレ! 新春まちがい探し 光の道を歩いて行こう!

★全部で6箇所あります(答えは下の欄外)

20年度 正義と平和委員会学習会 第4回「弱い立場の人たちと 共に生きる」

講師 横山紀子さん (元バングラデシュの人々を支える会代表)。第2回(2007年)アロイジオ賞特別賞受賞

日時 2021年1月16日(土) 13:30~16:00

場所 福信館 名古屋市東区葵2-6-29 (布池教会東)

問合せ カトリック名古屋教区正義と平和委員会 Fax 052-935-7189 (福信館気付)

バングラデシュ20年を振り返る

1998年バングラデシュの大洪水に際し、当時留学生だったアオラド・ホセイン氏の母国の被災者に衣料を送りたいとの熱意に応じて、衣料などの配布に協力した。現地を見た貧しさが1999年「バングラデシュの人々を支える会」の設立に繋がる。シブチョール島でまず取り組んだのは、牧場をつくり、農村部の恵まれない3名の女性を雇用。しかし数年後飼料代がかさむなど事業としての運営が難しくなり、牧場方式ではなく女性に1頭ずつ雌牛を提供し、自宅で飼育する直接方式に切り替えた。女性は自分の牛を飼育することで得た現金収入が、自助意欲に繋がり、生活の向上が見られるようになった。

主にささげる24時間~聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。

日時 毎月第2・第4木曜日 木曜日19:00~金曜日19:00

場所 カトリック主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33

主催 カトリック名古屋教区

問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223

責任者 平田政信神父 携帯電話 090-1623-1170

建設費の返済に協力を

621件 30,688,995円 目標額 40,000,000円(11/30現在)

達成率 約76.7%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

福者ユスト高山右近殉教者記念ミサ

北陸ブロック主催による「福者ユスト高山右近殉教者」の記念ミサが2月3日、はじめて平日に開催されます。2月3日は福者ユスト高山右近殉教者の記念日に当たります。多くの方々の参加をお願いします。

日時 2021年2月3日(水) 13:00より

場所 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54

ミサ ミカエル松浦信司司教と北陸ブロック司祭団共同司式

問合せ カトリック金沢教会 ☎076-264-2536

第33回 名古屋教区障害者連絡会 四旬節黙想会案内~障害をもつ人々共に~ テーマ『信仰を守ること、つなぐこと』 一尾張美濃キリシタン殉教者をとおして一

指導司祭 浅井太郎神父(東京カトリック神学院)

日時 2021年3月27日(土) 10:00~16:00

場所 カトリック南山教会 名古屋市昭和区南山町1 ☎052-831-9131

プログラム 9:30 受付、赦しの秘跡、10:30 ミサ 11:30 カ障連絡会、12:00 昼食 12:30 午後の受付、13:00 第一講話 14:30 第二講話、15:30 質疑応答、16:00 解散

参加費 無料

弁当 昼食として希望者には当方で弁当を用意します。費用は500円。ご希望の方は申し込みください。

主催 教区障害者連絡会 カリタス福祉委員会

問合せ 黙想会担当 平出 携帯電話090-3150-9844

注) 新型コロナウイルス蔓延拡大が予想される時は中止する事もあります。

バチカンの聖ペトロ広場でクリスマスツリーと プレゼピオが点灯

バチカンの聖ペトロ広場でクリスマスツリーの点灯とプレゼピオの除幕式が12月11日の夕方に行われた。今年のツリーは高さ28メートルで、スロベニアの南東コチエービエの森からもたらされたオウシュウトウヒ。プレゼピオは、アブルツツ州テラモ県で製作された陶製の作品。クリスマスをテーマに地元美術学校の生徒と教師らによって創作されたもので聖家族や、天使、東方三博士など教作品が選ばれた。

(カトリック中央協議会 HPより一部転載)

2020年度 聖書の学び<岐阜>

日時 2021年1月10日(日) 14:00~16:30 12:00~13:30は召命同伴の時間になりました。

場所 聖マリア女学院(マドンナホール)

第一部 イエスはどういう方か 力ある業による「神の国」の宣言 「神の国」のたとえ(マルコ4章1~34節)

連絡 諸事情により、一週間ずれることがあります。参加希望者は日時をご確認ください。

場所 聖マリアの無原罪教育宣教師道会 岐阜修道院・聖マリア女学院(マドンナホール) 〒501-2565 岐阜市福富201

担当 シスター 碓(いかり) ☎058-229-3985(修道院) ☎090-3933-3220(碓・携帯電話)

交通アクセス JR岐阜駅から市バス12番バスのりばから乗車、三田洞バス下車(27~28分乗っています)乗車時にTEL下さい。バス停で待っています。JR名古屋駅から約1時間です。自動車から来られる方は聖マリア女学院でナビ設定してください。

①左上梅の位置 ②左の松の奥行き ③紐の模様 ④ウサギの鼻 ⑤ウサギのマフラー ⑥右下梅と紐の重なり